

【地域の取り組みを紹介】…皆さんのまちにもありますよ。あんな取り組み、こんな活動。

当別町社会福祉協議会

高齢者の閉じこもり予防 ・サロン活動

外出機会の少ない高齢者の方がサロンに集われた方々と食事会などを通じて交流を深め、身近な地域のつながりを強め、明るく生き甲斐のある人生を送れるよう支援する活動を展開し、閉じこもらないようにしています。



斜里町社会福祉協議会

悪質訪問販売に対する 高齢者宅等の見回り活動

ホームヘルパーが乗る車に「悪質訪問販売監視車両」のステッカーをはり、悪質業者に訪問販売させないようにして、被害が減少しました。



社会福祉協議会は地域住民・関係機関等との協働により、「安心・安全・福祉のまちづくり」全道運動を推進します。

《ステップ1》住民に身近な小地域における福祉活動の充実強化

●少子高齢化が全国にも増して急速に進展している北海道では、地域の「繋がり」が希薄化し、高齢者等においては地域内での孤立や引きこもり、「孤立死」の危険性や健康への不安等が指摘される中で、市町村社会福祉協議会が従来から取り組んできた小地域を基盤とするきめ細かな福祉活動への期待が高まっています。こうした住民の課題や福祉ニーズを発掘し、支援に結びつける基幹的な取り組みとして、小地域福祉活動（小地域ネットワーク活動やサロン活動）の充実強化を推進します。

《ステップ2》新たな地域課題・生活課題への取り組みの推進

●社会福祉協議会は、小地域ネットワーク活動やサロン活動等の小地域福祉活動をはじめ、様々な地域福祉事業を推進していく中で、潜在化している課題や、地域性に基づく固有の課題を、住民との繋がりから発見し、課題に対応した関係機関等との連携により、それらの解決に向けた取り組みをすすめていくことも期待されています。小地域福祉活動の展開等を通じ、地域背景や社会的背景を踏まえ、新たな地域課題・生活課題への取り組みを推進します。

《ステップ3》地域課題や生活課題に対応するためのネットワーク(仕組み)づくり

●小地域福祉活動等を通じた地域固有の課題や生活課題の把握と、その解決に向けた関係機関との連携・協働の体制を一連のシステムとして発展させ、社会福祉協議会が中心となって、多様な相談・ニーズに柔軟に対応できるような「仕組み」づくりを推進します。

発行日/平成19年11月30日

発行/社会福祉法人 北海道社会福祉協議会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地

北海道社会福祉総合センター（かでの2・7）3階

TEL 011-241-3976（代） FAX 011-251-3971

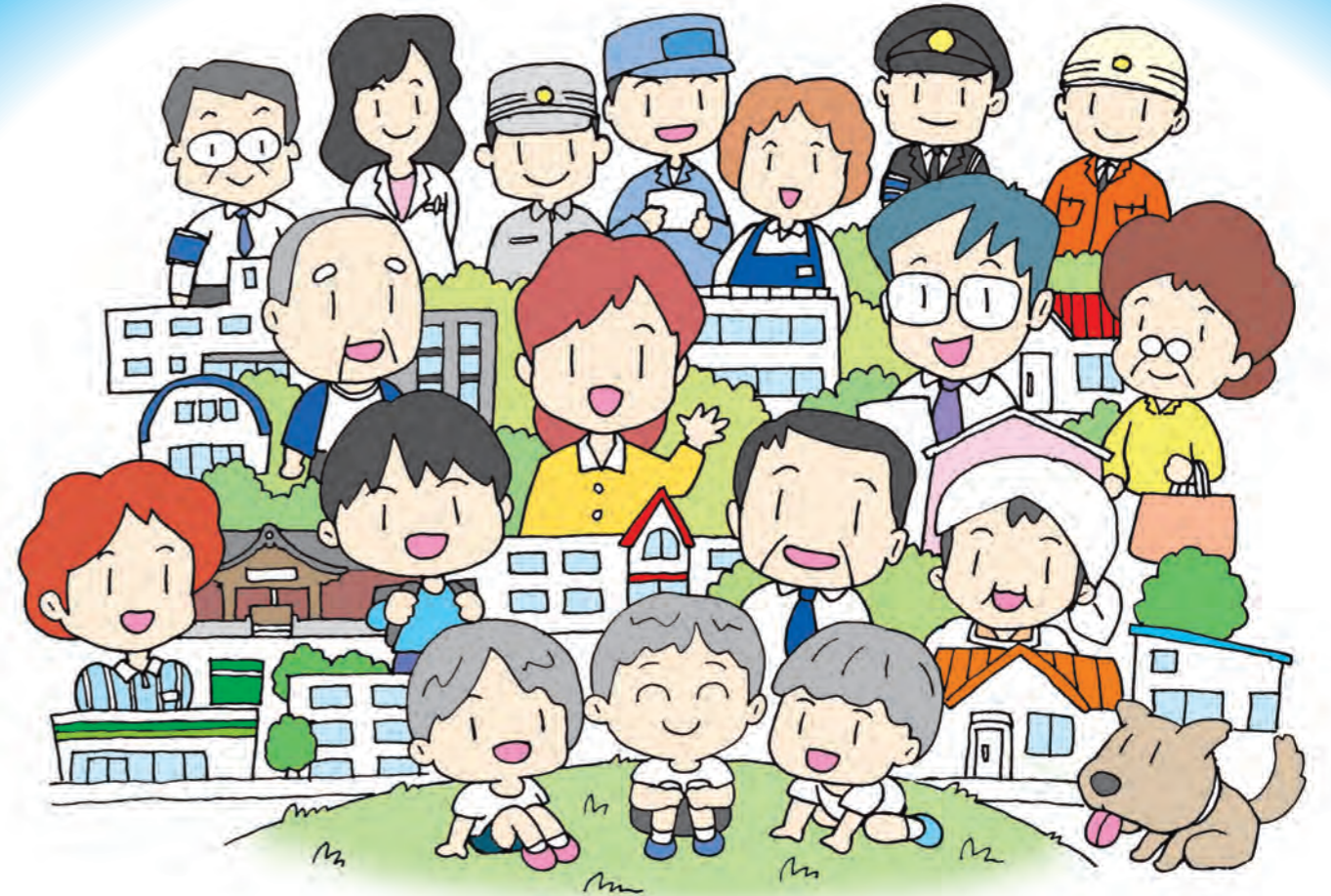
この資料は、
共同募金の配分金により
作成されました。



社会福祉協議会は応援します!

住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできるまちづくり

～「安心・安全・福祉のまちづくり」全道推進運動～



Q1.「安心・安全・福祉のまちづくり」とはどんな活動ですか？

地域における生活課題(消費者被害、高齢者の孤立、災害時の避難支援等)を解決するために、皆さんのまちの社会福祉協議会が推進主体となって、地域の皆さんや様々な関係機関と協働しながら、地域のネットワーク(仕組み)づくりを目指す活動です。



Q2.なぜ今、「安心・安全・福祉のまちづくり」を、社会福祉協議会が推進するのですか？

「安心して安全に、できる限り住み慣れた地域や家庭で暮らしたい」という地域の皆さんの思いを実現するためには、地域の皆さんとともに、このような新しい地域における生活課題(消費者被害、高齢者の孤立、災害時の避難支援等)に取り組んでいくことが大事です。社会福祉協議会は従来から地域住民や関係機関と協働することによって、小地域ネットワーク活動やサロン活動を推進し、「福祉のまちづくり」に取り組んできました。このような「福祉のまちづくり」のノウハウや経験を持つ社会福祉協議会が推進していくことが、効果的であると考えています。

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会

社会福祉協議会は応援します!

地域の皆さんとともに推進する「安心・安全・福祉のまちづくり」

社会福祉協議会は、このような地域における活動を推進しています

サロン活動

地域を拠点に住民である当事者とボランティアとが協働で企画し、共に運営していく仲間づくりの活動です。

小地域ネットワーク活動

小地域を単位として、要援護者一人ひとりに近隣の人びとが見守る活動や援助活動を展開する活動です。

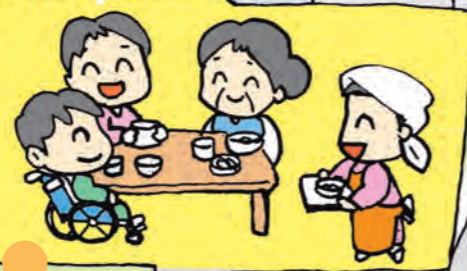
いざという時のための防災活動に取り組みましょう。

[地域における活動例]

- ・地域の町内会役員や民生委員等が、地震などの災害時に避難の手助けが必要な方を把握し、実際に避難するときその情報を活用しています。
- ・町内会等において、DIG(災害図上訓練)といった防災マップの作成の研修会等を企画し、地域の共通の課題として取り組んでいます。

「DIG」とは、地域で地震など大きな災害が起きた場合を想定し、みんなで対応を考え、大きな地図に書き込みを加えながら、ワイワイ楽しく議論する防災訓練のひとつです。
Disaster(災害)、Imagination(想像)、Game(ゲーム)の頭文字を取って名づけられました。
DIGという言葉には、「災害を理解する」「まちづくりを探求する」「防災意識を掘り起こす」という意味も込められています。

《食事会・茶話会》



《見守り・声かけ訪問》



これらの活動(小地域ネットワーク活動・サロン活動)は、地域の困り事を発見するアンテナです。実際の困り事をもとに、その地域の解決方法を地域で考え、取り組んでいく社会福祉協議会の大事な活動です。

《余興・演芸》



《除排雪》



認知症の方やそのご家族の方々が安心して暮らすことのできる地域づくりをしていきましょう。

[地域における活動例]

- ・高齢者になっても安心して暮らすことのできる地域づくりを考えるために、認知症の理解を深めるための研修会や茶話会を開催しています。
- ・認知症の方の徘徊等に対する身近な地域での見守りを、支え合い運動の一環として取り組んでいます。

高齢者虐待・児童虐待を未然に防ぎましょう。

[地域における活動例]

- ・見守り、声かけなどにより、生活変化を察知できる地域の関係づくりをすすめています。
- ・虐待の被害を防ぐための専門機関と連絡をとれる関係を保っています。

高齢者の孤立や、引きこもりをなくしましょう。

[地域における活動例]

- ・地域ボランティアをはじめとした福祉委員等により、電話や訪問といった方法で、一人暮らしの方への安否確認や声かけ訪問を行っています。
- ・行動様式(新聞受けの確認、電球の灯り)から、高齢者の方を、そっと見守る地域づくりに取り組んでいます。

悪質商法などの消費者被害をなくしましょう。

[地域における活動例]

- ・悪質業者を寄せ付けない地域づくりのために、日頃から、挨拶が飛び交う地域づくりを行っています。
- ・町内会などの会合の場において、パンフレット等を活用しながら悪質商法の事例やその手口等について情報交換を行っています。